

敦賀発電所1号機の原子炉手動停止について  
(原子炉再循環ポンプメカニカルシールの機能低下)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所1号機（沸騰水型軽水炉；定格出力35.7万kW）は、定格電気出力で運転中のところ、3台ある原子炉再循環ポンプの2台（B、C号機）の軸封部<sup>\*1)</sup>（メカニカルシール）で機能低下が認められるため、念のため原子炉を手動停止し、当該軸封部を取り替えることとした。

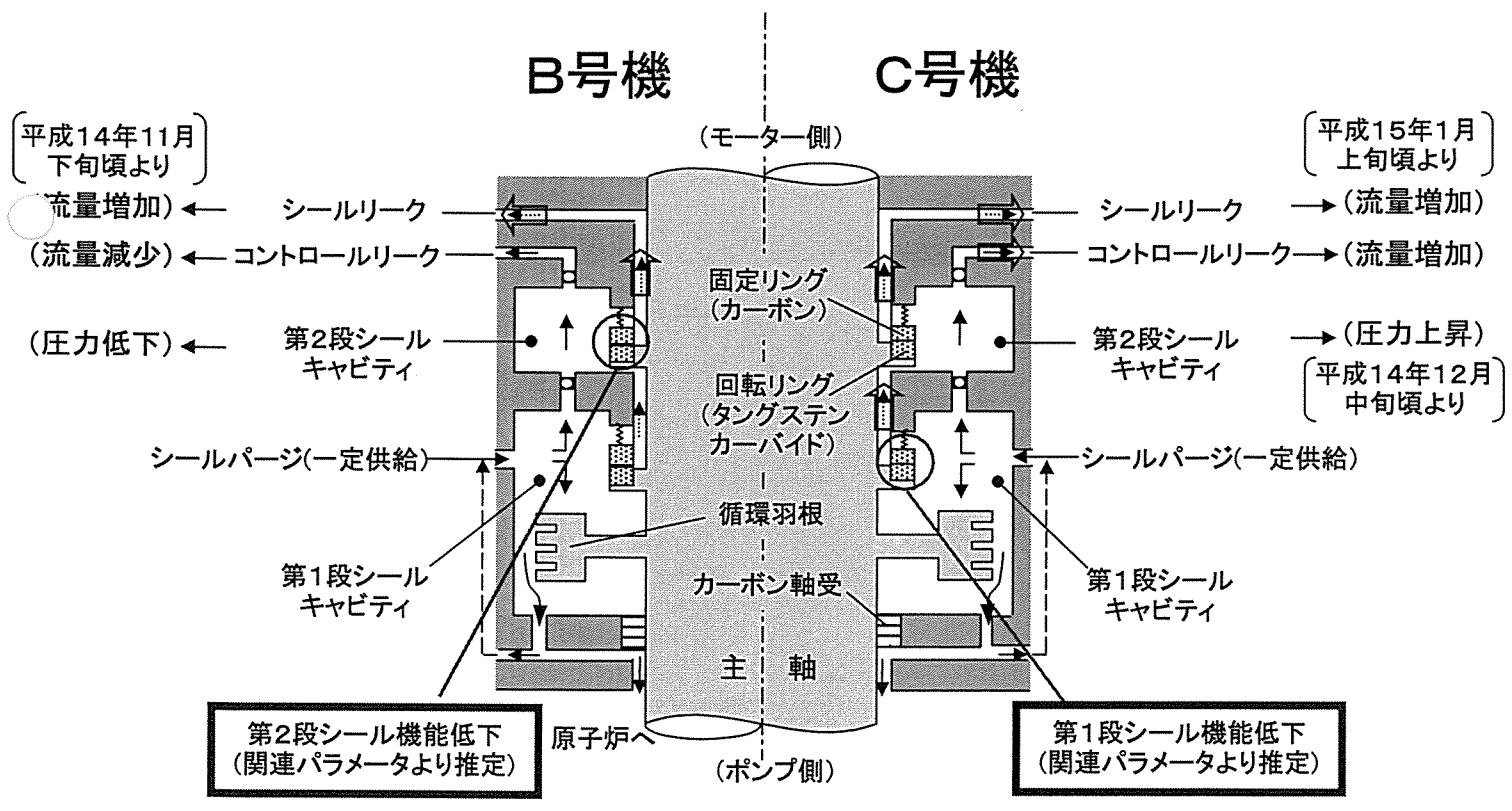
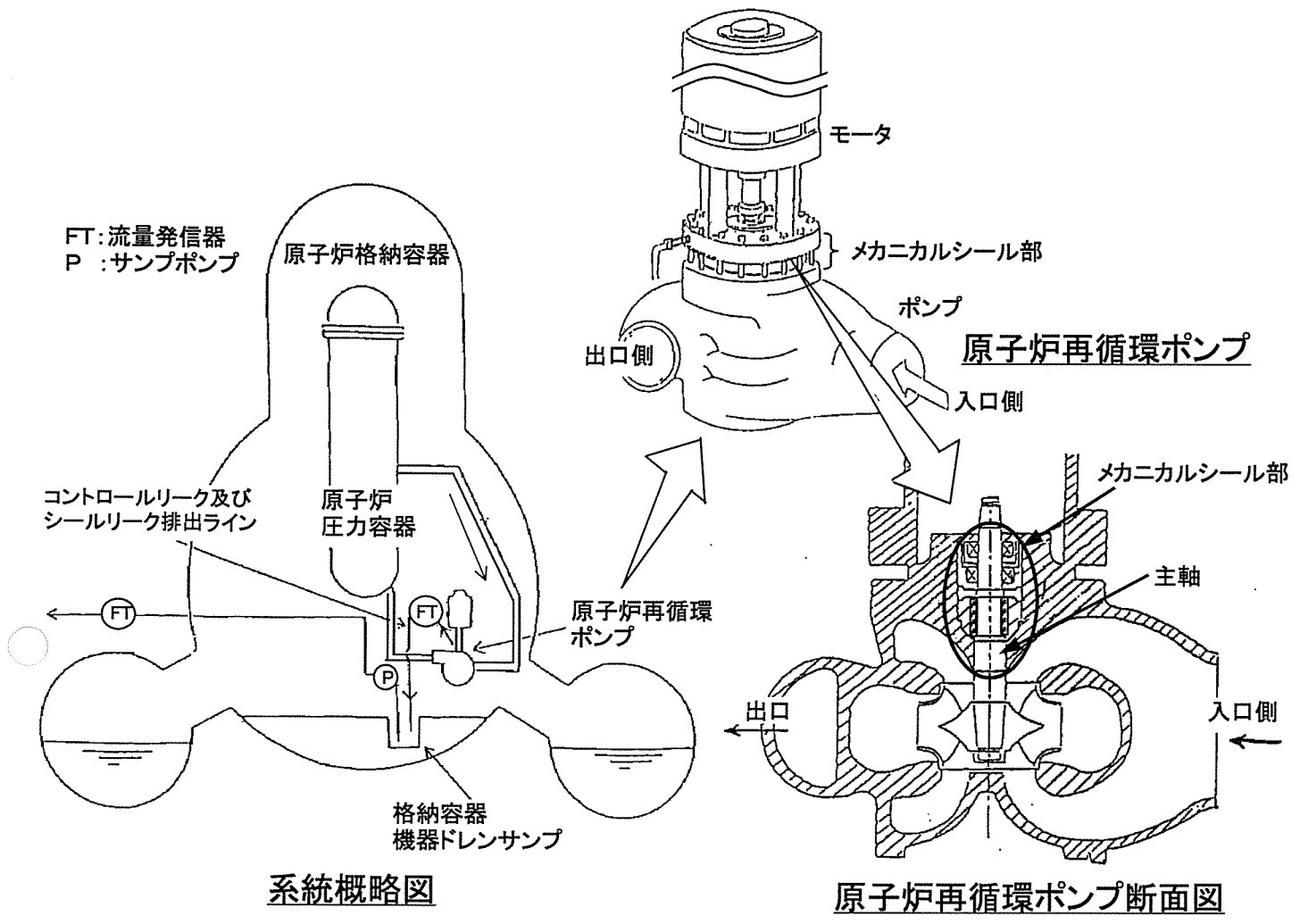
今後、2月28日10時から出力降下を開始し、14時頃発電停止、同日21時頃に原子炉を手動停止する予定である。

この事象による環境への放射能の影響はない。

\*1) 軸封部；ポンプ内の冷却水がポンプ主軸に沿ってポンプ外部に出ないようにするために設けられている。

(経済産業省によるINESの暫定評価尺度)

| 基準1 | 基準2 | 基準3 | 評価レベル |
|-----|-----|-----|-------|
| —   | —   | 0—  | 0—    |



原子炉再循環ポンプメカニカルシール部状況説明図